



泉だより

vol. 77

発行／医療法人 栄和会 広報委員会

2020.10月

今日の努力を明日の笑顔へ変えよう



2020年7月25日(土) 南島原市深江漁港付近

【栄和会 経営理念】悩める人を癒し、苦痛を和らげ、心を慰め、そして病気の予防を

通所リハビリテーションについて

通所リハビリテーションって？

通所リハビリテーション（デイケア）とは、在宅で生活している高齢者が病院や診療所、老人保健施設などに通い、日帰りでリハビリテーションや入浴・昼食などの日常生活上の支援を受ける介護保険サービスです。

通所リハビリテーション（デイケア）には、理学療法士（PT）や作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）などのリハビリの専門職が在籍しており、機器の充実した施設で専門家からリハビリテーションを受けることができます。他にも看護師、介護士が常駐しており、チームとなって利用者をサポートします。

リハビリテーション病棟から退院した後にもリハビリテーションを続けたい方や、長期的なリハビリテーションが必要な方、認知症の方などが利用しているサービスです。



通所リハビリテーションの目的は？

通所リハビリテーション（デイケア）では、入浴や食事といった必要な日常生活の世話も行われていますが、あくまでも方針はリハビリテーションを通して身体機能の維持や回復、認知機能の改善を図ることです。

一方で、通所介護（デイサービス）の方針は、外出して他の人と交流しながら過ごすことで利用者の社会的な孤立感を解消すること、心身機能を維持向上すること、利用者家族のレスパイト（身体的・精神的負担の軽減、息抜き）を図ることです。



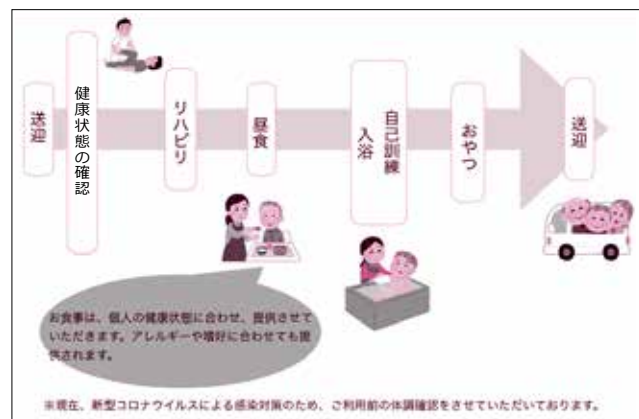
短時間のご利用も受け付けています

当院では介護保険を利用してリハビリに特化した短時間通所リハビリテーションを運営しています。

理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）が、利用者様それぞれのお身体の状態や生活状況、目標に合わせたリハビリテーション計画を立て、短時間で集中的な個別リハビリテーションを提供します。

- 通常のデイケアでは時間が長くて疲れてしまう方
- 入浴や食事は必要なく、リハビリだけ短期間で集中して行いたい方
- 退院後の生活に不安のある方にお勧めです。

1日の流れ



【お問い合わせ】

医療法人栄和会 泉川病院 0957-72-2017（代表）
 指定居宅介護支援事業所 ふかえ 0957-72-6814

お気軽にお声がけください。皆様のご利用をお待ちしています。

「令和2年熊本県豪雨災害」における 泉川病院の災害医療派遣活動について

この度の豪雨災害によって被害にあわれた皆様へ心よりお見舞い申し上げますとともに、被災された皆様の1日も早い復旧と復興をお祈りいたします。



令和2年7月3日(金)夜間、熊本県南部は線状降水帯により猛烈な雨が降り、熊本県の名河川である球磨川が氾濫し、その流域で多数の災害が発生しました。当院の災害医療派遣チームは、発生直後より情報収集・準備にとりかかり、4日(土)早朝6時に泉川病院を出発、陸路にて熊本県南部を目指しました。偶然ではありましたが、高速道路で熊本県消防隊と遭遇し情報交換を行った結果、要救助者が多数存在しているとのことで、合流して一路芦北町へ向かいました。芦北町においては、道路があちこちで水没しぬかるんでおり、一般車両での走行は困難でしたが、迂回を繰り返し現地へ到着しました。現場では民家を巻き込んだ土砂崩れが発生しており、残念ながら数名の方が犠牲になっておりました。当院チームは直ちに状況確認を行い、①土砂崩れ現場における医療支援、②周辺地域での医療・物資支援、③その他の土砂崩れによって孤立している地域・被災者・介護施設へバイクや徒歩による医療・物資支援を行いました。芦北町では約200本の飲料水を配布し、医療支援を10時間ほど行いました。

芦北町の活動が落ち着いた頃に、DMAT事務局より「人吉市への支援が可能か？」と連絡が入り、同日夕方より移動を開始。人吉市への移動も芦北町と同様に土砂崩れにより寸断されており、鹿児島県伊佐市を經由して移動し、人吉市への到着は20時を過ぎておりました。到着後、人吉市災害本部にて状況確認、当時の人吉市には医療支援チームが到着しておらず、避難所が10ヶ所開設されておりましたが、各避難所の収容人数等の情報が整理されていませんでした。そのため、当院チームによる巡回と被災者情報の収集を依頼されたので巡回は深夜まで及びましたが、避難された方は約1000人、可能な限りの健康相談を行いました。幸いにして避難所で体調をくずしている方は少数で、一部の被災者を救急搬送等行いましたが、多数の方は問題なく避難されていました。

5日(日)早朝より再度避難所の巡回を行い、その道中で浸水した病院（人吉記念病院）を目の当たりにし、被害が大きかったので復旧作業をお手伝いしました。その作業中に同病院職員から同院内にて、孤立している患者さんの搬送依頼がありました。泉川病院チームの隊員と同病院のスタッフが協力し、担架と車輦を使って8名の患者さんを基幹病院へ搬送しました。また搬送先の基幹病院も浸水被害を受けており、生活用水と飲料水が不足していたので、当院チームの装備である容積500Lのポリタンクと、約100本の2L水ペットボトルを物資支援しました。

浸水の全体的な状況が把握され、全国の医療支援チームも到着し急性期支援が落ち着いたため、当院チームは数日間の災害医療派遣活動を終わりました。

泉川病院ではこれからも医療だけではなく、このような非常事態に少しでも地域の皆様が安心できるように、今後も努力していきます。

(災害医療派遣チーム 岩永 瑞希)



栄和会ボランティア活動のご紹介



2020年5月28日(木)13時半から、泉川病院第3駐車場にて長崎県赤十字献血センターの400ml献血が行われました。

微力ながら、栄和会職員からも職員29名が参加して、400ml献血に協力をさせていただきました。世界的な新型コロナウイルス感染症が流行しているため、献血活動にも大きく影響を与えており献血率が低下傾向にあります。

献血バス内では、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと図りながら、安全に献血が行えるよう工夫されていました。

献血はボランティア活動になりますが、お近くで車両・看板を見かけた場合は、なにとぞ献血へのご協力をよろしくお願い致します。



(広報委員会 委員長 弓狩 一紘)

栄和会職員向け腰痛予防教室の実施

①看護師・介護士向け



労働安全衛生委員会では、新入職員を主な対象として、腰痛予防教室を毎年開催しています。今年は2020年6月9・16・23日に行いました。講義内容は、
①看護師・介護士及び重たいものを抱える機会の多い職員向け
②事務系職員及び同一姿勢での作業が多い職員向け

②事務系職員向け



と職種や対象によって異なる内容となっており、新入職員の方はもとより腰痛で困っている職員等も参加していました。

講師は当院の理学療法士が行い、自分の体を守る動作方法や腰痛を予防する運動の紹介・実演を行って、その後、全員で腰痛予防のストレッチを行いました。短時間ではありましたが、参加した職員からは、「参考になった」・「リフレッシュできた」と好評でした。

(労働安全衛生委員会 委員長 櫻間 洋一)

新入職員のご紹介



岡野 康伸(看護補助)



古瀬 真穂(看護師)



猿渡 亜由美(調理員)



岩崎 真愛(調理員)



寺田 香織(事務員)



古江 みどり(事務員)



松本 彩伽(事務員)

リハビリ室にトレーニングマシンを追加しました

2018年11月に泉川病院2階の理学療法室にトレーニングマシン（3種類6台）が導入されてから、はや1年半以上が経過しました。

患者さんのリハビリや生活習慣病対策の運動使用のほかに、職員も健康管理を兼ねて使用しています。少しずつですが、利用者増加に伴い、新たにクロストレーナーを2台追加しました。最近では新型コロナウイルス感染症流行でステイホームを強いられる事が多くなり、運動不足になりがちです。今が絶好の機会ととらえて、身体を鍛え直し体力をつけ、仕事・私生活にメリハリのある生活を送られてはいかがでしょうか？



職員紹介 13

皆さんこんにちは。今年3月から「居宅ふかえ」で介護支援専門員として勤務しています「古瀬真紀」と申します。国見町で生まれ、大学進学のため県外へ出た後、地元へ戻ってきました。大学では教職を学びましたが、様々な人生の岐路に立ち、今、こうして介護支援専門員として勤務できていることに感謝しています。

私生活に於いては、主人と子供（男の子）との3人家族です。子どもは現在小学1年生になり、やんちゃで甘えん坊の真っ只中です。体力の限界を感じながら、格闘の日々を過ごしています。1日があっという間ですが、少しだけ癒しとなっている時間があります。それは、子どもが習っているピアノ発表会で親子連弾が予定されており、久しぶりに人前でピアノを弾く機会を与えられました。子どもから「ピアノ頑張ろうね!」と言われたこともあり、1人練習することがストレスになるかと思いきや、久しぶりのピアノ演奏を楽しんでいる自分がいます。1日が慌ただしく過ぎる中、ほんの少しの時間でも自分自身と向き合い、私だけの時間を作ることの大切さを実感しています。

仕事では、自分をコントロールしながら人生の先輩である利用者さんと向き合い、専門職としての役割を果たしながら、栄和会の一員として地域社会に少しでも貢献できるよう努めていきます。仕事と私生活のメリハリをつけながら、これからも頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。



医療連携部
居宅介護支援事業所 ふかえ
介護支援専門員
古瀬 真紀





第 19 回

健康レシピ

えびときのこの
ガーリックバター炒め

材料 (2人分)

えび	150 g
しめじ	1/2袋
エリンギ	1/2袋
トマト	1個
にんにく	1/2片
オリーブ油	小さじ1杯
バター	小さじ1杯
塩	小さじ1/3杯
粗挽き黒こしょう	少々



作り方

- ①エリンギ・しめじは、石づきを切り落とします。
- ②エリンギはしめじの大きさにそろえて切り、トマトは12等分のくし切りを行い、にんにくはみじん切りにします。
- ③えびはしっぽの部分を残して殻を剥き、背わたを取り、背の部分に包丁で縦に切り込みを入れます。
- ④フライパンにオリーブ油・にんにくを入れて熱し、香りが立ったら、しめじ・エリンギ・トマトを炒めます。
- ⑤水分が飛んだらえびを並べて、やさしく混ぜながら炒めていきます。
- ⑥えびがピンク色になったらバターを加えて、全体を混ぜて、塩・粗挽き黒こしょうで味を整えて火を止めます。
- ⑦器に盛り付けて完成です。

1人分のエネルギー	144kcal
蛋白質	19g
塩分	1.1g
食物繊維	3.5g

エビは高タンパク質で低脂肪な食品です。きのこをたくさん使用するため、不足しがちな食物繊維が摂れます。



エビの赤色は「アスタキサンチン」という色素で、エビの他にもサケやカニなどに含まれています。アスタキサンチンは強力な抗酸化力を持ち、免疫力を高めます。その他にも、アンチエイジング効果、内臓脂肪の減少、生活習慣病の予防、疲労回復、脳機能を改善し集中力を高める効果などがあります。

多忙な平日をお過ごしの方の女性の皆様へ

日曜日

に乳がん検診を受けましょう！！

令和2年 10月18日

令和3年 1月31日 ・ 2月21日

新型コロナウイルス感染の状況次第では、中止又は日程変更等になる可能性もあります。

事前予約が必要です。予約枠には限りがあります。

ご希望の日程に御予約をお取りできない場合もございますので、ご了承ください。

TEL 0957-72-2017 (担当：健診室)

